

## 令和7年度「南区基本計画推進部会」第1回会議 議事録

### 1 開催概要

#### (1) 日 時

令和7年4月15日（火）午後2時～午後3時半

#### (2) 場 所

南区役所第2会議室

#### (3) 出席者

氏 名	所 属	備 考
天野 広一	唐橋学区自治連合会会長、南区「はぐくみ」ネットワーク実行委員会世話役、南少年補導委員会南支部会長、南民生児童委員会会長	部会長
田中 一明	九条学区自治連合会会長、南区社会福祉協議会顧問	
尾崎 嘉彦	京都市立開建高等学校校長	
山田 正志	京都中小企業家同友会南支部	
横江 美佐子	南青少年活動センター所長 (鈴江 良介チーフユースワーカーが代理出席)	
小牧 徳満	クミンプロジェクト代表	
花里 尚悟	市民公募委員	

(敬称略)

### 2 内 容

#### (1) 開 会

#### (2) 挨 拶

部会長 天野 広一

南区長 今井 邦光

#### (3) 議 題

ア 令和6年度事業報告について

イ 令和7年度事業計画（案）について

ウ 南区まちづくり運営方針（仮称）の策定について

＜ア 令和6年度事業報告についての主な意見＞

発言者	内容
天野部会長	どの事業にも多くの区民に御参加いただいたこと、大変ありがたく思う。特に防災は、全ての学区にとって関心が高く重要なことである。
山田委員	第3期南区基本計画が策定された当初はコロナ禍であったため、事業をしたくても動けず苦しい時期だった。今は活動ができるようになり嬉しい。コロナ禍終息後は、事業に費やせる予算も増えているのか？
事務局	予算についてはコロナ禍でのイベント見直しの影響があったが、その後は回復傾向にある。令和7年度は70周年記念事業を予定していることもあり、前年度に比べ約360万円の増額となっている。
小牧委員	各世代の区民が参加できる事業が実施されたと感じた。自身も区役所主導の様々なイベントに参加した際、異なるイベントで何度かお会いする方がいた。区民が区役所発信の情報をしっかりキャッチし足を運んで下さっている。そういったイベントで区民同士が繋がると、今後、何か一緒に行うことができるかもしれない。すごく良い取組が進んでいると感じる。
鈴江氏（横江委員代理）	取組内容をみると様々な区民に出番がある。小学生の職場体験はとても良いプログラムだと感じる。
花里委員	区役所が色んな事業をしていることを知った。ただ、自身の周りで参加した話は聞かない。市民しんぶんにも目を通していているが、実際に行きたいと思うイベントは無い。報告で初めて聞くイベント名もあった。
天野部会長	小さなお子様や高齢者向けのイベントはあるが、現役世代が子連れで参加できるイベントが少ないと感じた。南区民ふれあいまつりぐらいではないか。そこは更に充実させていく必要がある。
尾崎委員	<p>本校では、地域社会を学びのフィールドとして教育活動を展開している。様々な事業に生徒が参画させていただくことで、学びに繋がっており大変ありがたい。</p> <p>防災については、自校に防災ボランティアリーダーがいて、区内のみならず京都府内で取組に参加している。昨年10月には、京都市立西京高校の生徒と共に能登半島で被災地支援に参加した。</p> <p>また、今年3月の「南区一斉清掃」の際、3年生は卒業、2年生はテスト期間中、1年生は研修旅行中と生徒の参加を募るのが難しかった。そのため、普段から清掃が必要と感じていた学校周りの花壇を教職員数名で何とかしようと考えていたが、当日には地域の方が3、40名ほど来られ、きれいにしていただいた。改めて地域の方に守っていただいている学校だと感じ、大変嬉しくぐっときた出来事であった。</p> <p>これから社会の一員として活躍する高校生が、「お互い協力し合う」という実体験を積んで大人になることは非常に大切である。今後も地域</p>

	と連携していきたい。
田中委員	自身の学区には高齢者が多く、コロナ禍での生活が尾を引き腰が重くなっている方もいる。是非、事業に参加してもらえよう、地域として高齢者にも参加を呼び掛けていきたい。

### ＜イ 令和７年度事業計画（案）についての主な意見＞

発言者	内容
山田委員	７０周年記念ロゴ作成では高校生と、防災啓発事業では小学生と連携がある。中学生とも何かできると良い、例えば、区民運動会の種目企画を中学生に任せるなどはどうか。
鈴江氏（横江委員代理）	青少年活動センターの利用者は中学生が一番多い。７０周年記念ロゴの区民投票も「ちょっと協力してよ」と声を掛けて投票を募った。中学生も学校・部活・塾と忙しいため、簡単に参加できる企画があると良い。自分もまちづくりに参画しているという実感が持てると思う。 また、タイムカプセルでは手紙を何通ぐらい保管しているのか。
事務局	南区制６０周年時にお預かりした手紙やはがきが３２１通ある。７０周年では、それらをお届けする予定である。
尾崎委員	中学生の授業の中では、「総合的な学習の時間」を活用できるかもしれない。中学生になると自身の住んでいるまちについてしっかりと考えられる年齢である。小学生と連携して行う予定の防災啓発事業について、本校の防災ボランティアリーダーもお手伝いさせていただけるかもしれない。以前、祥栄小学校で防災キャンプを実施したこともあるので、例えば、今年度、唐橋小学校で防災啓発事業をする際に、説明を高校生が担当するなど是可以。
花里委員	南区企業との連携企画にはどのぐらいの企業が参加されるのか？
事務局	これから募集する予定だが、多くの企業に御協力を賜りたいと考えている。御協力いただく方法は様々検討している、例えば７０周年記念ロゴを商品に使用したり、ステッカーを店舗に貼っていただくことで、区民の目にも入り区全体で一体感を持って動くことができる。京都中小企業家同友会南支部の会員企業からは御協力いただける旨の意向を聞いている企業もある。
花里委員	せっかくの機会なので南区制７０周年記念の南区民ふれあいまつりでいくつか企業ブースがあると面白い。
事務局	企業協力という面では「お楽しみ抽選会」があり、区内企業から当選賞品を御提供いただいている。
天野部会長	７０周年の時に、今後の区役所庁舎の建て替えについて少しでも計画が見えるものを出してもらえたらと期待している。

＜ウ 南区まちづくり運営方針（仮称）の策定についての主な意見＞

発言者	内容
小牧委員	区内の有志にリーダーシップを持って動いてもらえるような働きかけや、多くの区民を巻き込む動きをしていってほしい。
山田委員	中小企業家同友会にもやる気のあるメンバーがたくさんいるので、是非、力になりたい。区民が活躍できる場所・仕組みづくりが必要である。
鈴江氏（横江委員代理）	青少年活動センターでは、利用者の意見を取り入れてセンターづくりをしていこうと動いている。センター内で議論するより広い意見が聞ける。他のことにおいても単独で動くより横のつながりを持ち動くことでお互いに視野が広がる、またそれをきっかけに協力しやすい関係づくりに繋がると思う。
尾崎委員	南区民ふれあいまつりでは、昨年度は生徒が70周年記念ロゴのアンケート実施とともに生徒考案のイベントを行った。今年度も何か一緒にさせていただけたらと思う。学校・地域社会をより良くするためにできることを考える「未来共創会議」のメンバーを中心に動くことができる。「未来共創会議」のメンバーは今年3月にも京都市からの依頼で、今後の長期ビジョンを市民にどうやったらしっかり見ていただけるかを、ワークショップを開いて考えた。

4 閉会